



SciencesPo.

交換留学報告 (SciencesPo)

Hiromu Matsuoka

22.06.2016

留学の動機

- 違う環境での生活
- OECDでのインターン
- フランス語

SciencesPo

- パリ中心部に位置するエリート養成校（2016年のQS Rankingでは、Politics & International Studiesの分野で世界4位）
- 国際的（150カ国からの留学生、全体の学生の47%）
- 学際的（美術に関する講義も）

交換留学プログラム

- PSIA (Paris School of International Affairs)
- Master Programs:
International Security, International Public Management, International Economic Policy, Environmental Policy, International Development, Human Rights and Humanitarian Action, International Energy, Journalism and International Affairs
- 英語での講義が7割ほど。留学生の割合も7割ほど。

授業

- 1コマ2時間
(8:00-10:00, 10:15-12:15, 12:30-14:30, 14:45-16:45, 17:00-19:00, 19:15-21-15)
- 12回／学期(3回以上休むと落第)
- 出席、プレゼン、試験orレポート(中間と期末)で評価
- 5コマ＋フランス語の授業2コマ／週 (私の場合)

良い点／悪い点

- 良い点

- 学生の多様性
- Discussion-basedな授業
- 立地

- 悪い点

- Administrationの質
- 図書館
- 交換留学生に不利な履修登録の仕組み

生活

- パリの西の郊外（電車で40分ほど）でホームステイ
- パリの治安は少し悪い（北、東側）、公共サービスの質も悪い
- SciencesPoの学生だと無料で並ばずに入れる場所がある（美術館、ヴェルサイユ宮殿など）
- SciencesPoの学生は銀行口座を作るとお得（140ユーロのbenefit）

スケジュール

2014年11～12月：学内選考

2015年3月： SciencesPoへのオンライン申請

2015年4～5月： VISA申請（オンライン手続き、料金（15000円）振込、大使館へ申請）

2015年6月頃： 住居決定

2015年7月中旬： 履修登録

2015年8月中旬： パリ渡航（現地で最終的な在留許可の手続）

2015年9～12月： Autumn Semester

2016年1～4月： Spring Semester

費用

- 収入:

GCLの奨励金(12万円/月)

- 支出:

家賃(夕食込) 550ユーロ/月

交通費 70ユーロ/月

その他 100~200ユーロ/月